



明石市環境基本計画(改定版)より

# 明石市 環境レポート 2007

## 明石市環境レポート 2007

平成20年3月発行

編集・発行

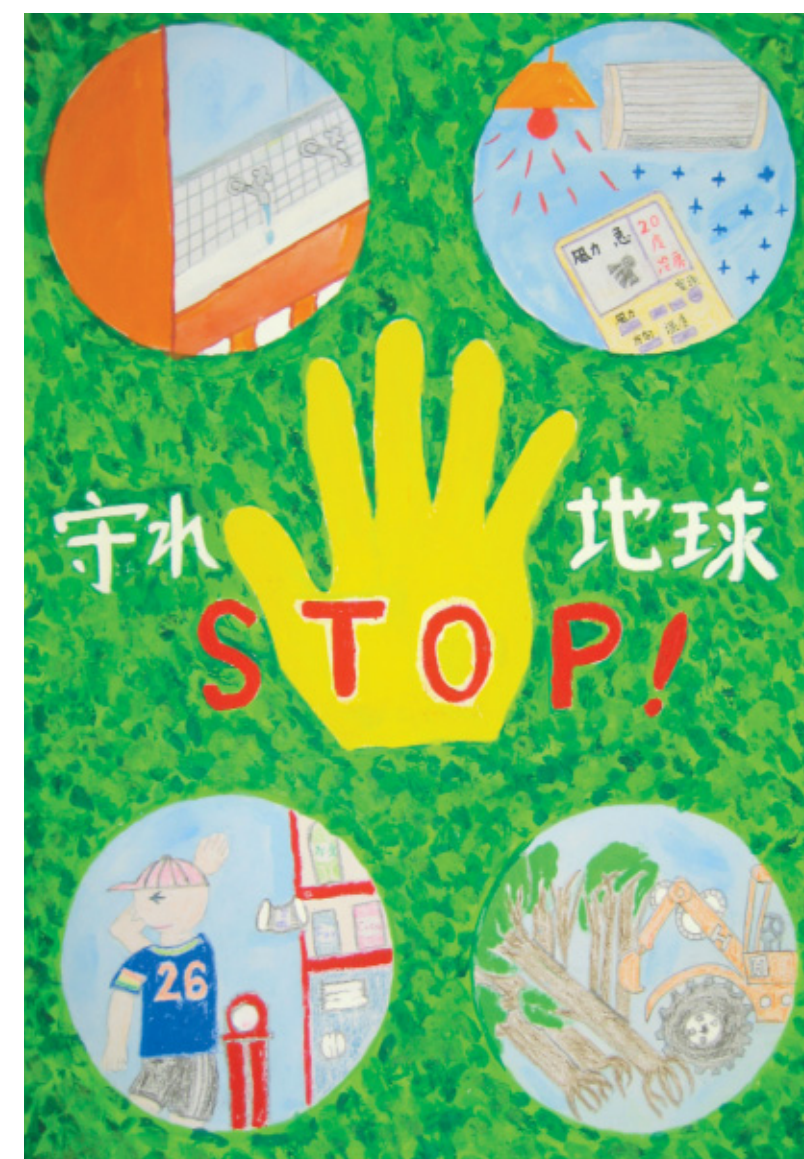
明石市環境部地球環境課

〒673-0882 兵庫県明石市相生町2丁目5-15  
市立保健センター4F

Tel: 078-918-5029 Fax: 078-918-5107

e-mail: plan-ems@city.akashi.hyogo.jp

URL: [http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth\\_kankyou\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/index.html)





# 明石市環境レポート2007

## INDEX

編集方針	1
市長挨拶	2
明石市の環境への取り組み	3~6
・環境基本計画に関連する施策等	
・自然環境の保全	
・環境マネジメントシステム	
・地球温暖化防止	
明石市環境基本計画の改定	7~10
・環境基本計画の見直し	
・リーディングプロジェクトの内容	
・エコウイングあかしの取り組み	

## 編集方針

明石市(行政委員会の事務局を含む)の、環境施策と事務事業を対象に編集しています。

平成18年度~平成19年度にかけての市の環境に関する情報を掲載しています。

明石市の環境行政をより良いものにするために、市民の皆様からのご意見・ご感想を募集しています。頂いたご意見の一部は市のコメントを併記し、平成20年度発行予定の「年次報告書-明石市の環境-」に掲載します。

表紙 人丸小学校 最上 由基さんの作品  
(第14回 かんきょうポスターコンクール入選)

## 市長挨拶

地球温暖化に代表されるように環境の変動が激しさを増しており、明石市においても地球環境全体を視野に入れた施策を進めることが重要な課題となっています。

かけがえのない環境を将来に向かって次の世代に引き継いでいくためには、市民一人ひとりの考え方や行動が、地球にやさしいものへ変わっていくことが必要であると考えます。

そこで明石市では、平成19年3月に「環境基本計画」を改定し、市がめざすべき将来の環境像を実現するため、市民とともに取り組む13項目のプロジェクトを皆様にお示しいたしました。

これらの計画を実現していくためには、行政のみならず、市民、事業者の参画のもとで協働して取り組むことが重要であるため、三者のパートナーシップ

推進組織である「エコウイングあかし」を立ち上げ、施策を展開しているところです。

本書は、平成18年度から19年度にかけての明石市の環境の取り組みを要約したものです。本書により市民の皆様が環境への関心を高められ、地球規模の視点をもって環境への取り組みを進めていただきますことを切に期待する次第です。

平成20年3月

明石市長  
北口寛人



## 主な関連資料の一覧、入手方法

### ●明石市環境レポート

本冊子です。明石市の環境への取り組みを分かりやすく、市民の皆様にお伝えするために作成し、公表しています。2007年版は環境基本計画の改定から、推進組織設立までの流れを中心に構成しています。

### ●年次報告書-明石市の環境-

明石市の環境の現況(大気汚染、水質汚濁など)、環境基本計画に基づく施策の状況、環境マネジメントシステム及び地球温暖化対策実行計画の推進状況の情報を掲載し、公表しています。



左: 明石市環境レポート  
右: 年次報告書  
-明石市の環境-

### ●地球環境課Webサイト「ECOIST」

左記の他にも、明石市の環境に関する各種条例・計画、環境管理マニュアルなど様々な情報をHP上にて公開しています。



地球環境課Webサイト「ECOIST」  
URL: [http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth\\_kankyou\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/index.html)

# 明石市の環境への取り組み

明石市が実施した環境への取り組みの一部をご紹介します。  
また、市だけではなく地域の団体や兵庫県などと協力した啓発イベントも行っています。

## 環境基本計画に関連する施策等

### きらりん明石 ポイ捨てバツテン運動

地球環境課では、平成19年4月から明石駅前周辺をモデル地区として、「きらりん明石 ポイ捨てバツテン運動」を展開しています。  
地域に関係する団体などと協働し、クリーンアップ清掃や清掃活動を紹介する「きらりん明石かわら版」の発行などを行い、環境美化の「輪」を広げながら、ごみのない清潔できれいなまちづくりをすすめています。



神戸学院大学と協働して明石駅前を清掃

### あかし環境フェア

市民の環境への関心とごみの減量やリサイクルの意識を高めるため、「あかし環境フェア」を開催しています。  
平成18年度は市立産業交流センターで実施しました。「フリーマーケット」「再生利用家具の展示」「リサイクル図書コーナー」には、賑わいが絶えず、楽しみながら参加できるイベントとして今後も継続して実施していきます。

(平成19年2月)



環境フェア会場入口

### 第3次最終処分場の供用開始

明石クリーンセンターでは、第2次最終処分場が満杯になるのを受けて、第3次最終処分場を整備しました。市域の狭い明石市にとって、今後、市内で最終処分場の用地を確保することは非常に困難な状況です。少しでも長く使い続けるため、3Rの推進やごみの分別などを進めて、ごみの最終処分量を減らしていきます。



明石クリーンセンター内の第3次最終処分場  
(平成19年5月28日から供用開始)

また、平成18年度は環境基本計画の改定とそのプロジェクトをPRするとともに、地球温暖化防止活動推進員と協力し、かんたんな工作を通じて、参加した方々に地球温暖化防止を啓発しました。



会場での様子



## 自然環境の保全

### 自然環境の再生

明石市は「明石の自然とまちづくりネット」の一員として、市民団体や教育機関などと協働で、水辺を中心とした自然環境再生に取り組んでいます。  
また、平成16年度からは、明石の自然環境を紹介する情報誌「知っとこ明石」を発行しています。



現在発行されている「知っとこ明石」  
(明石のため池や公園、用水路を特集)

### どんぐり・ため池フェスティバル

金ケ崎公園で活動する森の探偵団主催、市の協力にて、「どんぐり・ため池フェスティバル」を開催しました。どんぐりのクラフト作りや、ざりがに釣りなどの野外活動を通じて、参加した子どもたちは自然と触れ合いました。

(平成18年10月)

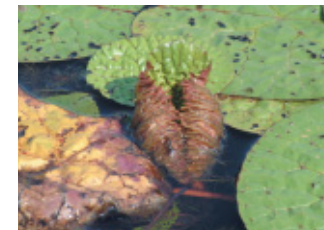


子どもたちの様子

### オニバス観察会

西島ため池協議会や兵庫・水辺ネットワークなどの団体や兵庫県と協力し、オニバスの一大群生地として知られる大久保町西島周辺にて、「オニバス観察会」を開催しました。平成18年度は新池にて、オニバスや水草などを観察しました。

(平成18年8月)



左は新池のオニバス



### ため池ドロンコ探検隊

水を抜いたため池に入り、池の生物に直接接触する「ため池ドロンコ探検隊」を開催しました。参加者はドロンコになりながらも、夢中になって池の中の生物を探し、観察しました。

(平成18年11月)



生物を探す参加者たち

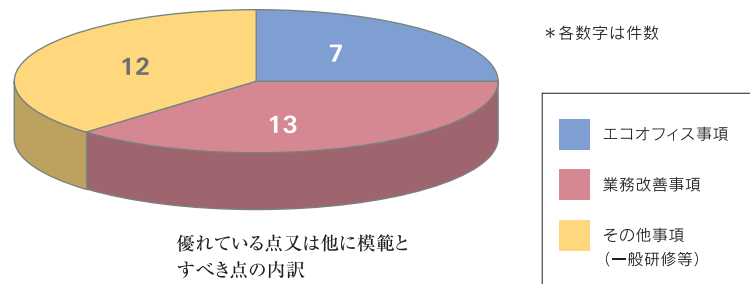
## 環境マネジメントシステム

### 内部環境監査

内部環境監査とは、明石市が定めた環境マネジメントシステムがISO14001規格の要求事項に適合し、有効に機能しているかについて、市の職員自身が評価する仕組みのことです。

平成18年度の内部環境監査の結果は、業務改善提案が1件ありましたが、是正措置は完了しました。

また、「優れている点又は他に模範とすべき点」として32件あり、庁内へ周知することで水平展開を図っています。その他、規格に対する適合性や取り組み状況などについては概ね良好でした。



平成18年度は本市の内部環境監査に尼崎市、伊丹市の職員にオブザーバーとして参加していただきました。また、尼崎市、西宮市、宝塚市、伊丹市と本市にて相互内部環境監査システムを構築しています。



明石市の内部環境監査報告会の様子

### ISO14001自己宣言

明石市では、平成13年に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、エコオフィス活動や環境に有益な事務事業などへの取り組みを進めてきました。

このたび、規格との適合性を自らが判断し、宣言する「自己宣言」の手法を選択しました。

(平成19年3月)



ISO14001自己宣言書

内部環境監査やISO14001自己宣言の他、明石市の環境マネジメントシステムの取り組みなどは、地球環境課HP「ECOIST」にてご覧いただけます。

URL: [http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth\\_kankyou\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/index.html)

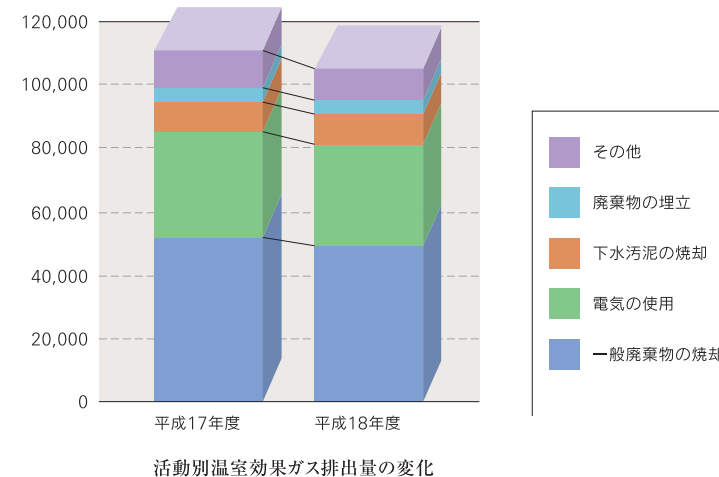
## 地球温暖化防止

### 地球温暖化対策実行計画の改定

明石市では平成13年3月に市役所の事務事業から排出される温室効果ガスを抑制するなどの措置を定めた「明石市地球温暖化対策実行計画」を策定し、その措置の実施状況を年次報告書にて毎年公表してきました。

実行計画は5年ごとに見直すことになっており、平成17年度までの実績、国や国際的な動向などを踏まえて、平成19年3月に計画の改定を行いました。

改定版の実行計画では、平成22年度に市役所の事務事業に伴って排出される温室効果ガス排出量を平成17年度比で6%削減に努めることを目標にしています。



平成18年度の温室効果ガス排出量は約105千t-CO<sub>2</sub>であり、平成17年度と比較すると約5%の削減になっています。目標を達成するためには、今後もさらなる削減に努めなければなりません。

また、温室効果ガス排出の主な原因となっているのはごみの焼却や上下水の処理であり、市民や事業者の活動に起因しているものが全体の約8割を占めています。その削減のためには、市だけでなく、市民や事業者とともに取り組んでいく必要があります。

### ブラックイルミネーション

地球温暖化防止のための全国的な節電行動として、ライトアップ施設の夜間消灯を呼びかける「ブラックイルミネーション2006」に参加し、市の施設でも消灯を実施しました。

(平成18年6月)



平成18年度の啓発用ステッカー

### 夏休み環境工作教室

明石地域の地球温暖化防止活動推進員と市との連携により、「夏休み環境工作教室」を開催しました。参加した子どもたちは、牛乳パックで作った蒸気船を水に浮かべ、船を走らせるエネルギーについて勉強しました。

(平成18年8月)



工作に励む子どもたち

# 明石市環境基本計画の改定

平成19年4月から「明石市環境基本計画(改定版)」がスタートしました。  
ここでは、計画がどのように出来上がっていったかを紹介합니다。



環境パートナーシップあかし市民会議でのグループ討議

## 環境基本計画の見直し

平成18年6月から平成19年3月にかけて、明石市環境基本計画の見直しを行いました。  
見直しされた「明石市環境基本計画(改定版)」の計画期間は平成19年4月から平成23年3月までの4年間です。

### 見直しの理由

最初の計画が作られたのは平成12年2月。見直し開始までの7年間にはさまざまなできごとが起きました。

- ・ 大手食品製造メーカーによる食中毒の発生 (平成12年)
- ・ アメリカでの同時多発テロ(平成13年)
- ・ SARSの大流行(平成15年)
- ・ 相次ぐ台風上陸(平成16年)
- ・ 愛知万博開催(平成17年) …

社会情勢を大きく揺るがすもの、気候変動をはじめとする環境問題に目が向くきっかけとなったもの…これらのできごとを通して、食品への注意が高まったり、ハイブリッドカーへの興味が高まったりしました。

そのようななかで、これまでの環境基本計画の考え方はマッチしなくなってきました。そこで、計画の中間見直しを行うことにしました。

### 見直しの内容

これまでの環境基本計画は、行政が作ったものでした。環境に関する取り組みは、行政が決めて、市民に協力をお願いする方法ではなかなか前に進みません。今回の見直しでは、見直しを進める市民を公募するとともに、市内事業所にも声をかけ、市民と事業者と行政からなる「環境パートナーシップあかし市民会議」において作業を行いました。

また、これまでの計画には目標が設定されていませんでしたが、市民と事業者と行政で作った「13のリーディングプロジェクト」には、推進段階に応じた目標を設けました。



### 見直しのメンバー

「環境パートナーシップあかし市民会議」のメンバーが見直し作業を行い、原案を作成しました。公募市民41名、市内事業所より4名、市役所内関係部局より17名の計62名が、市民会議のメンバーでした。



環境パートナーシップあかし市民会議のメンバー

### 見直しの方法

毎月2回の合同会議は計17回開催し、そのほかグループごとの打合せや見学会を実施しました。6月～9月の合同会議では地球環境や地域環境など、その日のテーマに関するゲストの話を聴き、後半はテーマについてグループで話し合いました。

9月～2月の合同会議ではメンバーは3つのテーマ「ごみ・資源・ライフスタイル」「エネルギー」「自然」にわかれそれぞれ、明石市で実現して行きたいリーディングプロジェクトの作成に取り組みました。

### これからの活動

これからの活動を進めていくために、エコウイングあかし(明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会)を平成19年10月8日に立ち上げました。リーディングプロジェクトに関する活動を中心に行っていきます。

### なにをしているの?

「ライフスタイル」「エネルギー」「自然」の3つのグループにわかれて活動しています。おおよそ月に一度開催する例会で、活動内容を決定していきます。リーディングプロジェクトの活動を中心に、関連する活動を行っています。



エコウイングあかしシンボルマーク

### 環境基本計画の見直しのあとに続くもの



エコウイングあかし会長  
塩野 勝 氏

明石市の環境基本計画が策定されてからの7年の歳月は、社会環境を変え、地球環境を変えて、これまでの着物では背丈に合わなくなってしまいました。見直しに当たっては市民、事業者が行政にコラボレートして意見を出し合い、目標を精神的なものではなく具体的なものとして定めて、それを13のリーディングプロジェクトとして、進めることになりました。

これからは、行政と市民、事業者が一体となって、これらのプロジェクトを「エコウイングあかし」の旗印の下で達成し、明石市を「環境のまち」にするための力が試されることになります。

多数の明石市民がこの活動に関心を持ち、参加していただくことを望んでいます。

## リーディングプロジェクトの内容

「リーディングプロジェクト」とは、計画全体をリードし、計画全体の効果を高める先進的な取り組みのことです。13のプロジェクトができました。

### ライフスタイルに関するもの

- LP1 あかし環境マイスター制度**  
環境資格制度の合格者「環境マイスター」の活動でごみの減量などを進めます。
- LP2 暮らしの知恵伝承プロジェクト**  
風呂敷や布おむつなど、知らなかった暮らしに役立つヒントをみんなで教えあいませんか。
- LP3 グリーン購入推進プロジェクト**  
毎日の買い物で、地球環境にやさしいことができます。その方法を明石市内に広めましょう。



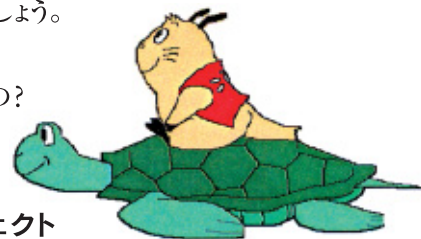
### エネルギーに関するもの

- LP4 マイカーの利用を考える運動**  
自動車の運転を工夫することで、地球にやさしいことができるのをご存知ですか？
- LP5 自動販売機の適正化で環境を改善する**  
自動販売機は便利ですね。でもちょっと視点を変えてみませんか？
- LP6 市民太陽光発電所プロジェクト**  
環境先進国だけの取り組みではありません。市民発電で自然エネルギーへの関心を高めます。
- LP7 家庭でできる温暖化防止**  
ほんの少しのことからできる温暖化防止があります。エゴがエコにつながりますよ。



### 自然に関するもの

- LP8 水でつながる明石の自然プロジェクト～コウノトリきて！ウミガメきて！大作戦～**  
明石の代表的な自然である「水」（海、川、ため池…）の環境を改善し、コウノトリがやってくるような自然環境を明石に作ります。可能性はゼロじゃない!?
- LP9 明石に「ふれあいの里山」を復活させよう!! IN 金ヶ崎公園**  
夏休みにカブトムシやクワガタを捕まえた思い出。ずーっと明石に残しましょう。
- LP10 地産地消あかし流＝えこあぐり**  
地産地消って明石でもやってるの？できるの？環境とどんな関係があるの？
- LP11 みどりのコーディネーター・プロジェクト**  
まちにみどりを増やしたい市民と行政の緑化施策をつなぎます。
- LP12 “古(いにしえ)の今”を次世代につなぐ「明石のよいところ」プロジェクト**  
私だけが知っているんじゃない「明石のよいところ」!
- LP13 自然環境ナビ**  
たくさんある明石の自然・天然資源情報をもっと見やすく。もっとわかりやすく。



## エコウイングあかしの取り組み

### エコウイングあかし・オープニングイベント

平成19年10月8日に生涯学習センター7階フロアにて開催しました。明石工業高等専門学校吹奏楽部による演奏で幕を開け、リーディングプロジェクトの紹介をはじめ、グループごとの会場展示、スタンプラリーなどで、「エコウイングあかし」のお披露目を行いました。



展示会場の様子

### あかしの自然歩き隊

平成19年12月9日に、魚住町金ヶ崎公園から大久保町江井島海岸までを歩き、身近にある自然環境に関心を持ってもらうためのイベント「あかしの自然歩き隊」を開催しました。里山や古民家、ため池、水路、そして海という明石ならではの自然に触れる一日でした。



自然のなかを散策する参加者たち

### 魚住小学校環境体験事業

兵庫県で平成19年度から始まった「体験型環境学習」に協力しました。これは小学3年生を対象に、自然を学ぶ学習です。魚住小学校3年生の「体験型環境学習」は、魚住町の金ヶ崎公園で4回にわたり実施されました。こどもたちの活動のサポートをエコウイングあかしメンバーが行いました。



自分たちの木に名札をつける子どもたち

### 環境基本計画の改定に携わって



明石市環境部ごみ対策課  
藤原 繁樹

この度、明石市環境基本計画の見直し作業に携わることができ、非常に有意義な経験ができました。市民や事業者の方と議論を重ねることで、環境問題への熱い想いやそれぞれの立場での考え方もよく理解することができました。

改定された基本計画は、参加されたメンバーの明石への熱い想いが盛り込まれたものになったと思います。

今後、各リーディングプロジェクトを市民・事業者・市が三位一体となって確実に展開していくために、その中心組織であるエコウイングあかしライフスタイルグループメンバーとして頑張っていきたいと思っています。